

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	フロア玄関付近に1週間の献立表を掲示しているが利用者が見ることが少なく、献立に興味をもったり食事を楽しみに出来るような掲示として活かしていない。	食事を待つ楽しみや利用者スタッフの会話のきっかけに繋がる。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示場所を利用者の目にとまる食事スペース付近に設ける。 ・1日の献立をホワイトボードに書いておく。 ・献立の記載をお手伝いして頂ける利用者にはスタッフと一緒にお手伝いして頂く。 	3ヶ月
2	13	避難訓練は行われているが全スタッフの参加は出来ていない状態にあり、特に夜間の避難方法や対応には不安を感じている。	スタッフ全員が非常時の対応について不安を軽減することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが不安に感じる事、分からないことのアンケートをとり改善策を話し合う。 ・グループホーム独自の夜間を想定した対応マニュアルの作成を行い、日常的に対応が確認できる機会をつくる。 ・スタッフ全員が関われるシュミレーション訓練の実施を行う。 	12ヶ月
3	1	事業所の方針が日々のケアにどう繋がっているのか意識されていない。	方針(理念)に基づいたケアを自覚し自信をもち新たなケアを実践していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・方針の周知と説明を定期的に行う。 ・申し送り、職員会議の際に方針に沿ったケアや出来事を肯定的な言葉で共有・フィードバックしていく。 ・現状のケアについて方針に近づけられる事がないか考える。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。